

製造業者向けスニーク・ピーク: NetSuite 2022 リリース 1 によるサプライ・チェーンにおける目標達成とよりよい購入の意思決定の支援

Gavin Davidson, Manufacturing and Wholesale Distribution Industry Lead

2021 年も終わろうとする中、製造業界にはまだ十分なチャンスがあることを示す兆候が見られました。ISM 社の製造業購買担当者景気指数 (PMI) は 11 月に 61% となり、18 か月連続で上昇しました(50% を上回ると成長を意味します)。

しかし、この PMI は同時に、製造業者が持続的な供給や労働力の不足、原材料費の急激な高騰に取り組んでいく必要があることも示しています。このような課題を受けて、製造業界では生産量をより正確に予測し、手持在庫を減らし、タスクを自動化する方法を模索しています。NetSuite 2022 リリース 1 では、このような問題に対処するための新機能や機能改善を提供し、製造業者が競争で優位に立てるように支援します。

サプライ・チェーンにおける効率と収益性の向上

- 2020 年に NetSuite に供給計画ワークベンチが導入されました。これは供給注文と需要注文が表示される単一のページで、部品や完成品がどこにあるかをオペレーション・チームが詳細に調べることができます。これにより、企業は予定の納期に間に合うようにすべての部品や原材料を確保するとともにその場で調整できます。

2022 リリース 1 では、[供給計画ワークベンチ](#) が改善されました。生産マネージャーは、ワークベンチに表示されるアイテムを選択して特定のフィルターを適用することで、自分が監督する作業に関連する情報のみを表示できます。複数のテンプレートを保存することでそれぞれの表示を切り替えたり、そのうちの 1 つをデフォルト表示にできます。また、ワークベンチにアイテムの説明や仕入先情報、[安全在庫](#) が表示されるようになったことによって詳細なコンテキストが提供され、迅速な意思決定ができるようになります。

ORACLE NETSUITE

Activities Transactions Lists Reports Analytics Customization Documents Setup Commerce SuiteApps Support

Planning Workbench

SUPPLY PLAN DEFINITION: PklsDef_75

REPOSITORY REFRESHED: 11/16/2021 10:56 am

DATE RANGE: 11/16/2021 to 1/15/2022

PLANNING HORIZON: 11/16/2021 - 5/15/2022

RESULTS GENERATED: 11/16/2021 10:56 am

ITEM FILTERS

PLANNING WORKBENCH VIEW: US Vendor View

PLANNING ITEM CATEGORY: All Categories

ITEM: All Locations, Parent Company

MESSAGE / ORDER FILTERS

ACTION TYPE: All Messages

EXCEPTION TYPE: All Exceptions

SUPPLY TYPE: All Supplies

DEMAND TYPE: All Demands

RESULTS SUMMARY

Show: 50 of 1 of 13

ITEM	ITEM DESCRIPTION	INVENTORY MEASURES			MESSAGE / ORDER COUNTS			
		ON-HAND	ON-ORDER	LATE DEMAND	ACTION	EXCEPTION	SUPPLY	DEMAND
ALL ITEMS	ALL ITEMS	---	---	---	38	92	113	108
Water_Bottle_75						10		
Racing_Bicycle_75		25	80		2	5	19	22
Standard_Bicycle_75		80	90		5	4	17	18
Tandem_Bicycle_75		75	120		4	5	14	19
Aluminum_Frame_75		20		40	9	9	12	13
Deluxe_Seat_75		60	20		2	8	3	1
Racing_Seat_75		40			1	9	5	3
Racing_Wheel_75		40	5	40	9	9	14	13
Standard_Wheel_75		80					7	3
Steel_Frame_75		80					7	3
Leather_Covering_75		20				9	3	1
Standard_Seat_75		160		30	6	6	12	13

- 製造業者が直面するプレッシャーを考えると、購入元のすべての供給者の信頼性を把握しておくことはいっそう重要になります。NetSuiteの新しい仕入先パフォーマンス・スコアでは、仕入先の履歴パフォーマンスに基づいて特定の製品の注文が何日早くなるか、あるいは遅くなるかを予測し、それぞれの予測には信頼度(1-100)も付与されます。このデータによってより適切な計画と購入の意思決定が可能となり、仕入先との友好的な取引交渉にも役立てることができま
- 限られた量の在庫で業務を行っている製造業者は、ビジネスに最適な方法で在庫を割り当てることの重要性を理解しています。NetSuiteの最新版では、生産計画者は割当済需要をクリックし、供給が顧客注文、ワーク・オーダー、または移動伝票用に確保されているかどうかを確認できます。オペレーション・マネージャーは、収益性、重要顧客、販売チャネルなどに基づいて優先順位を付けて、利用可能な供給をどのように分割するのが最善かを決定できます。
- NetSuiteの製造および[サプライ・チェーン管理\(SCM\)アプリ](#)の更新により、テクノロジーにだんだん慣れてきた従業員の生産性がさらに向上します。製造モバイル・アプリのユーザー・インターフェースがいっそうシンプルになり、製造現場の監督者が生産実行の数量を確認できるようになりました。また、供給に余裕がある場合の過剰生産の可否を切り替えることができ、これは在庫レベルを管理するうえで役立ちます。

SCMアプリでは、倉庫マネージャーは数回タップするのみでデータ表に表示するフィールド(顧客、単価、確保済量、場所など)を変更できます。

倉庫の効率の向上

- NetSuite 2022 リリース 1 では、[NetSuite 倉庫管理システム\(WMS\)](#)で単一注文ピッキングおよび複数注文ピッキングにおける[ゾーン・ピッキング](#)がサポートされるようになりました。このピッキング戦略を使用すると、倉庫内でのピッキング担当者の移動やピック・パスの重複を制限することで製造業者によってはピッキング速度が上がり、複数のピッキング方法を採用することが可能な製造業者であればより柔軟に複数のピッキング方法を採用できます。

WMS では、棚入、循環棚卸、および在庫移動時の検数スキャン(だれかが数字を入力するのではなくスキャン時にアイテムがカウントされます)にも対応しています。

さらに、倉庫マネージャーは複数のウェーブを選択して1回のアクションでそのすべてをリリースしたり、アイテム・ラベルを検索して印刷したり、注文やウェーブのピッキング・ステータスをすばやく確認でき、そのすべてがモバイル機器から可能です。

- 昨年リリースされた [NetSuite Pack Station](#) には、梱包をより効率的に行うための機能拡張が多数追加されています。作業者は、「そのまま出荷」するアイテムを一括して梱包および開梱できるようになりました。たとえば、それぞれ別の注文に属している10個のアイテムがすべてピッキングされている場合に、ユーザーは「そのまま出荷」を選択すればよく、それぞれのアイテムに対して個別に「そのまま出荷」を選択する必要はなくなりました。また、注文の梱包を開始する前に、アイテムの梱包指示を表示することもできます。さらに、パッケージの重量を測定する際に、重量単位のポンドとキログラムの切替えが可能になりました。

資金ポジションの理解の向上

- 資金は常に最重要課題ですが、製造業にとってはコストの急上昇への対応はとりわけ危急の課題です。2022 リリース 1 ではキャッシュ 360 が導入されました。このダッシュボードには、企業の現在の資金ポジションと6か月間のキャッシュ・フロー予測が表示されるとともに、週ごとの資金ポジション予測がグラフで表示されます。より正確な予測のために、財務プロフェッショナルはローンや投資、大口購入などのイベントを手動で追加できます。財務リーダーはこれらの数字をドリルダウンしてその背後にあるデータを確認できます。
- 子会社間の[関係会社間トランザクション](#)のワークフローが整っていない製造業者向けに、NetSuite では、請求書と簡単に照合できるように、会計担当者が関係

会社間前払金/買掛金調整とクレジット・メモをタグ付けできるようになりました。今回のリリースではまた、[2021 リリース 2 の関係会社間相殺機能](#)をベースに、コントローラに対して関係会社間勘定残高の総体的なビューが提供されるようになりました。これにより、子会社間のトランザクションにおける手作業が減り、エラーを早く見つけられるようになります。

在庫の常時監視

- 原材料が高騰し、入手しにくくなることがある現在、製造業者にとって部品や原材料を無駄にしないことは重要です。[NetSuite の品質管理](#)では、標準的な検査スケジュール以外に、アドホック検査、時間指定の検査、繰返し検査など、必要に応じてアイテムの再検査ができるようになりました。検査に不合格だったアイテムがその後修理された場合や、1 回目の検査でぎりぎり不合格だったものもう一度検査したい場合などに検査をトリガーできます。
- オペレーション・チームは、フォワードおよびバックワード・トレースを含む、すべてのトラッキングされたロットの統合ビューを表示できるようになりました。レポートはアイテムやトランザクション・パラメータにより調整できます。
- 期限順先出し法 (FEFO) による配送では、在庫が価値を一部またはすべて失う前に動かすことで、在庫の無駄を最小限にとどめることができます。FEFO は製造日を含むロット番号に依存しますが、この番号を、それを必要とするアイテムに割り当てることがより簡単になりました。今回のアップデートでは、注文に対する在庫の確保時のみでなく、配送の際にも FEFO を使用できるようになり、2 つのステップが 1 つになりました。

分析の向上

- 製造業者はコストを抑えつつ需要を満たすために、データに基づく意思決定を行う必要がありますが、SuiteAnalytics の改善および新たにリリースされた [NetSuite Analytics Warehouse](#) はその点で役立ちます。最新リリースでは、NetSuite Analytics Warehouse にさらに 18 種類の組込トランザクション・タイプが追加されており、これにより現在提供されている数から 50% 近く増えることとなります。また、ポイント・イン・タイム分析に使用可能な、在庫、ワーク・オーダーおよび経費精算書の履歴データセットも提供されます。また、既存の 2 つのダッシュボードに加えて新たに 6 つのダッシュボードが追加されています。
- 単一の [SuiteAnalytics](#) ワークブックで複数のデータセットを分析するには、これまで SuiteScript API を使用してコードを記述する必要がありました。NetSuite 2022 リリース 1 では、SuiteAnalytics において、必要なリンクをド

ラッグ・アンド・ドロップすることで複数のデータセット(カスタム・レコードを含む)を1つのワークブックにリンクする、新しいインタフェースが導入されました。ビジネス・ユーザーは開発リソースなしでワークブック内の複数のデータセットをリンクできます。この新しいインタフェースにより、予算と実績、予測と実績、計画と実績といった各分野におけるビジネス・パフォーマンスの分析にかかる時間およびリソースが削減され、[データに基づくより優れた意思決定](#)が可能になります。

コマース統合の簡単な管理

- 多くの製造業者は、[NetSuite Connector](#)により NetSuite と統合された外部アプリケーションを使用しています。お客様は新しい NetSuite コネクタ・タブを使用して、すべてのコネクタを1箇所で管理および監視できるようになりました。

NetSuite 2022 リリース 1 の詳細

製造業者が厳しい環境下において優位に立つために役立つ、NetSuite の最新リリースで利用可能なすべての新機能をここで網羅することはとてもできません。すべての新機能の詳細な内容については、[リリース・ノート](#)を参照してください。

これらの新機能がどのように動作し、自分の組織においてどのように役立つかを正しくご理解いただくために、[リリース・プレビュー・テスト・アカウント](#)をお申し込みください。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。